

h i s t o r y ガウラと訪ねよう！ 歴史の旅 袖ヶ浦の名前の由来



ボクはガウラ。ホームページのマスコットなんだ。
今回は、背中に羽根をつけて、袖ヶ浦の歴史をみなさんと
いっしょにのぞいてみたいと思うガウ。
おっと、大昔に行く前に、みなさんは袖ヶ浦の名前の由来って
ご存じですか？

「古事記」の伝説ですが、その昔、東国を平定するために兵を進めていたヤマトタケルが東京湾を渡ろうと軍船で渡航した時のこと

これは「古事記」の伝説ですが、その昔、東国を平定するために兵を進めていたヤマトタケルが東京湾を渡ろうと軍船で渡航した時のこと

知らない？ それじゃあ教えてあげるガウ！

海神さま…

波は和ぎまもなく船は無事に上総へ着岸することができました。

オトタチバナヒメツ

いつの頃からか、妃の袖が流れ着いたという言い伝えが生まれ、「袖ヶ浦」という名前が生まれたのです

なんと、涙、涙のお話ですね。

あの時代にアクアラインが通っていたら、オトタチバナヒメも無事だったことでしょう。

さあ、袖ヶ浦の由来が分かったところで、歴史をさかのぼる旅に出発するよ。

怒りを鎮めてください！

How Sodegaura Got Its Name

Behind the name Sodegaura is an ancient legend concerning the hero Yamatotakeru, whose boats were assailed by violent winds when he endeavored to cross Tokyo Bay. The boats were on the point of sinking, for the winds and high waves made it impossible to steer. At that moment, his wife, the princess Ototachibana, leaped into the waves in order to pacify the sea god who had raised the wild storm. Soon, the waves subsided, and the boats proceeded safely to the coast of Kazusa. Eventually, it came to be told that one of the princess's sleeves washed ashore here. Hence, the name Sode-ga-ura (sleeve bay).



袖ヶ浦の名前の由来となった伝説は古事記のなかでヤマトタケルが東征の軍を進めている途中、東京湾を渡っていたときの出来事だったといわれています。

ところで、昔の地名は上総、下総など「上」や「下」とつくものが少なくありません。これは、都(京都)から近いほど地名に「上」がつき、遠い場所に「下」がつけられていました。不思議なのは、地図で見ると上総より下総の方が近いように思えます。これはどうしてでしょうか？

それは、当時の都からの使者は陸路をとらず、ヤマトタケルと同じように東京湾を渡って北上していたからなのです。すると、先の上総を通ることになり、都からの使者が先に通るので「上総」と呼ばれるようになったのです。



旧石器～縄文～ 弥生時代

旧石器時代に続く縄文時代というのは、
狩猟・漁撈や木の実などを採集して生活を
していたんだガウ。

美しい装飾を
施したのもの
あるんだガウ。

石器のほかに、
土器も使われていて
いたんだね。とくに
土器は、縄を使って
独特の模様をつけたり、

大陸から稲作が
伝わると、人々の生活
様式は、それまでの
狩猟・採集型から、

農耕定住型に
変わるんだ。
この時代を
「弥生時代」と
いうんだガウ。

どうやって
生活して
いるの?

ちよつと
インタビュ
してみるガウ。

このころには、
貧富の差ができて
支配階級がすでに
形成されていたん
だガウ。

ここを支配して
いる長がわたしたち
農民を守って
くれるから、
みんなで協力し合って
稲を育てる
ことができているよ。

Old Stone Age, Jomon Period, Yayoi Period

People likely began living in the Sodegaura area some 30,000 years ago, a time when the atmospheric temperature was low and present-day Tokyo Bay was dry land. As the global climate gradually warmed, the oceans rose in elevation, giving form to Tokyo Bay some 12,000 years ago. An environment suitable for fish and shellfish developed in the bay, while on land, trees and fruit-bearing plants became widespread. People began to

use stone implements and earthen vessels, and hunted small animals using a bow and arrows. Many invaluable relics telling us how people lived in those times have been unearthed from the Sanya shell mound in Itomi, Sodegaura.

With the introduction of rice cultivation, metalworking, weaving and other technologies from the mainland some 2,300 years ago, people settled in villages. The sites of dwellings from this period have also been uncovered in the city.

column

袖ヶ浦の地に人が暮らし始めたと考えられているのは、今からおよそ3万年前の旧石器時代のころでした。その頃は気温が低く、現在の東京湾のほとんどは陸地になっていました。

それから気温が次第に温暖化し、約1万2千年前の縄文時代となると、海水も上昇して徐々に東京湾が形成され始めます。貝や魚の生息に適した環境となり、陸地には樹木が茂り木の実をつけた植物が広がってきました。

人々は石器のほか、土器(縄文土器)を使い始め、弓矢で小型の獣を獲るようになりました。飯富の山野貝塚 からは当時の人々の生活を知る貴重な遺物が多数発見されています。

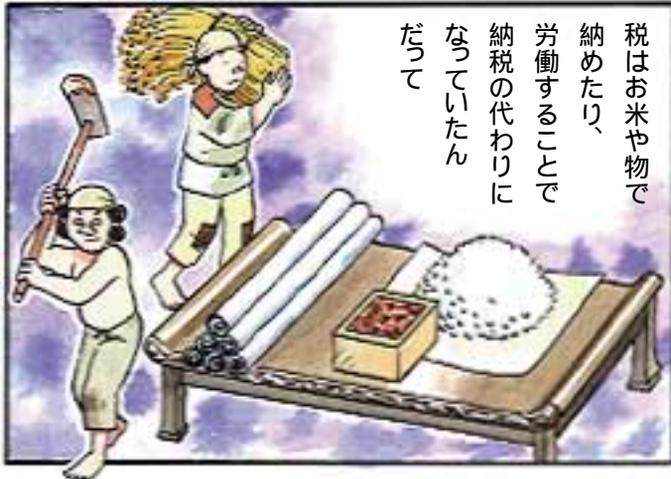
そして、およそ2千300年前に大陸から稲作や金属器、機織りなどの技術が伝わり、人々は集落をつつて暮らしようになりました。

この時代が弥生時代で、このころの住居跡は金井崎、鼻欠などの遺跡から発見されています。



古墳～奈良～ 平安時代

7世紀頃になると、中央政府の基盤整備が進んでいったガウ。中国にも使節団を派遣していたんだよ。驚きだよな。



税はお米や物で納めたり、労働することで納税の代わりになっていたんだって



この頃から税を納めることが始まったんだ。
国家の財源は、今と同じように一般の人たちが納める税によつて支えられていたんだガウ！



「望陀布」は織りの密度が高く、品質の良さが知られ、とても高級品だったんだガウ。

「望陀」とは当時の袖ヶ浦・木更津周辺の地名なんだよ。

望陀布とは麻糸で織った布のことよ。



ところで、袖ヶ浦の人たちが税として納めていたものの中に「望陀布」があるんだけど、知ってた？



昔の人もすこかったんだガウ！

「望陀布」は、現代の技術でも簡単に作り出せないほど高い技術で織られていたらいいんだ。



だから、宮廷の垂れ幕などに用いられたというように、ことも伝えられているガウ！

Age of Burial Mounds, Nara Period, Heian Period

About 1,700 years ago, the state of Yamato was formed by the chieftains of powerful clans, with a ruler or "Okimi" at its head. The chieftains of this time had large burial mounds constructed for themselves, as monuments to their power. The larger the burial mound, it is believed, the greater had been the chieftain's territorial authority. About 500 such mounds have been found in Sodegaura.

In the 8th century, a capital was

established in present-day Nara prefecture, and a state was formed on the basis of fundamental laws for ruling a nation. In the late 8th century, the capital was moved to Kyoto. Hence began a period of imperial government, led by an emperor but increasingly dominated by powerful aristocratic clans. The most powerful clans came to possess large territories of land and formed armies of warriors to defend them. These armies would later give rise to the "samurai" warrior class.

幕府を開く武士の起りとなるのです。
8世紀頃になると平城京に都がおかれ（奈良時代）、律令（国家を治める基本法律）に基づく中央集権国家が形成されていきます。8世紀後半には平安京に都が移され（平安時代）、政治は天皇を中心とした貴族たちが支配する時代となります。有力な貴族は私有地を持つようになり、その護衛のために武士団を置くようになりました。この武士団が後に、鎌倉幕府を開く武士の起りとなるのです。

今からおよそ1700年前には、大和地方に大王と呼ばれる首長を中心とする豪族たちでつくられたクニ（大和政権）が現れました。
当時の豪族は、自分の勢力の証として古墳（お墓）を築きました。大きければ大きいほど、勢力があるということなので、市内でも、約500基の古墳が見つかっています。

column



鎌倉～室町～
安土桃山時代

12世紀後半の平安時代末期、その頃は『平氏にあらずんば人にあらず』とまで言われるほど、平氏が絶大な権勢を誇っていたんだガウ。



その平氏を倒すべく、挙兵をしたのが、伊豆で流人生活を送っていた源氏の嫡流である



平氏にあらずんば人にあらず



頼朝が再起を図るには格好の場所だったあ〜。

この地方は古くから源氏とのつながりが強いところだったので〜、

ところが相模の石橋山合戦で破れ〜、海路で房総半島南部に逃れたあ〜。



市内を通っている鎌倉街道沿いには、源氏にゆかりのある神社がたくさんあるらしい。

なんか歴史のロマンを感じるね!



この時の伝説に

白鳥が羽根を落しながら頼朝軍の道案内を果たしたため、この地名の『白羽』が付いたともいわれています。

Kamakura, Muromachi, and Momoyama Periods

In the late 12th century, Minamoto Yoritomo became the shogun and established a military government ("shogunate") in Kamakura. Thus, the age of aristocratic rule ended, and a new age of military rule began.

The new government was continually troubled by conflict among the samurai clans supporting it. After Yoritomo's death, the Hojo clan, who had acted as regents of the Minamoto shogunate, succeeded to power.

Dissatisfaction with Hojo rule grew, until powerful samurai families finally rose up in rebellion in the 14th century. This led to the founding of the Muromachi Shogunate under the Ashikaga Takauji. The Ashikaga government also suffered continual conflict among the clans supporting it, and by the late 15th century the entire nation had fallen into a state of chaos. An age of civil war began, with low-ranking samurai coming to hold positions of power while the shogun remained a ruler in name only. This period was characterized by castle warfare conducted by samurai clans from strong castles erected in their home territories. Several such castles and fortresses were built in the Sodegaura area.

無実となり、下剋上身分の低い者が上位の者にとって代わる(の)戦国時代となります。本拠地に堅固な城を築き、城の争奪戦の時代です。市内にもこの頃に城や砦が築かれました。久保田城(久保田)や蔵波砦(蔵波)、大竹砦(大竹)、川原井城(川原井)、打越砦(打越)、高谷城(高谷)などの丘陵上に築かれた城、小坪城(横田)、北口城(横田)など低地に築かれた城があります。

江戸時代

長かった戦国の時代が終わって、江戸時代が始まるんだガウ。どんな時代だったんだろうね？



長かった戦国時代に
終止符を打った
織田信長



その後を継いで
天下統一を果たした豊臣秀吉



秀吉の死後、
再び分裂した日本を
統一したのが徳川家康
だったんだガウ。



家康は、
江戸（現在の東京）に
幕府を開き、

それまで京都だった
政治の中心地を江戸へ
移した。



そして、江戸を中心
とした水運や陸上の
交通路の整備を進め
たんだよ。



袖ヶ浦周辺でも、
房総往還とか
久留里往還などの
脇往還（脇街道）が
整備されたんだガウ。

房総往還の中継地として
奈良輪宿も主要な宿場と
して発達したんだ

奈良輪宿
東西約1キロ、南北
約500メートルという
規模の中には、神社・
寺院・医師・名主・旅館・
茶屋・湯屋などが
ありました。



街道は物資の輸送だけ
じゃなく、商人や社寺
参詣の旅人たちが
にぎわっていたんだ。



現在のJR
袖ヶ浦駅前付近が
奈良輪宿の中心地区で
あったと考えられて
いるんだガウ。

column

17世紀始め、徳川家康によつて江戸に幕府が開かれると、江戸は政治の中心地となり人口も増大し都市化していきました。江戸を中心とした交通路の整備により、各地から農産物やさまざまな商品が集まってくるようになりました。

袖ヶ浦周辺でも房総往還や久留里往還が整備され、街道の継立場（中継地）には人足と馬を常備することが決められました。この人足と馬は村々に対して強制的に提供することが課せられていたのです。これを「助郷・制」といいます。農事を担う農民と馬が借り出されるので、助郷は村にとって大きな負担でした。房総往還の継立場の一つが奈良輪宿で、周辺の40の村々が当番で助郷にあたりました。

幕府は村を支配の単位として年貢の納入をはじめ、さまざまな労役を課していたのです。また、村役人を通して、農作物から生活に関わる細かい規制を行いました。

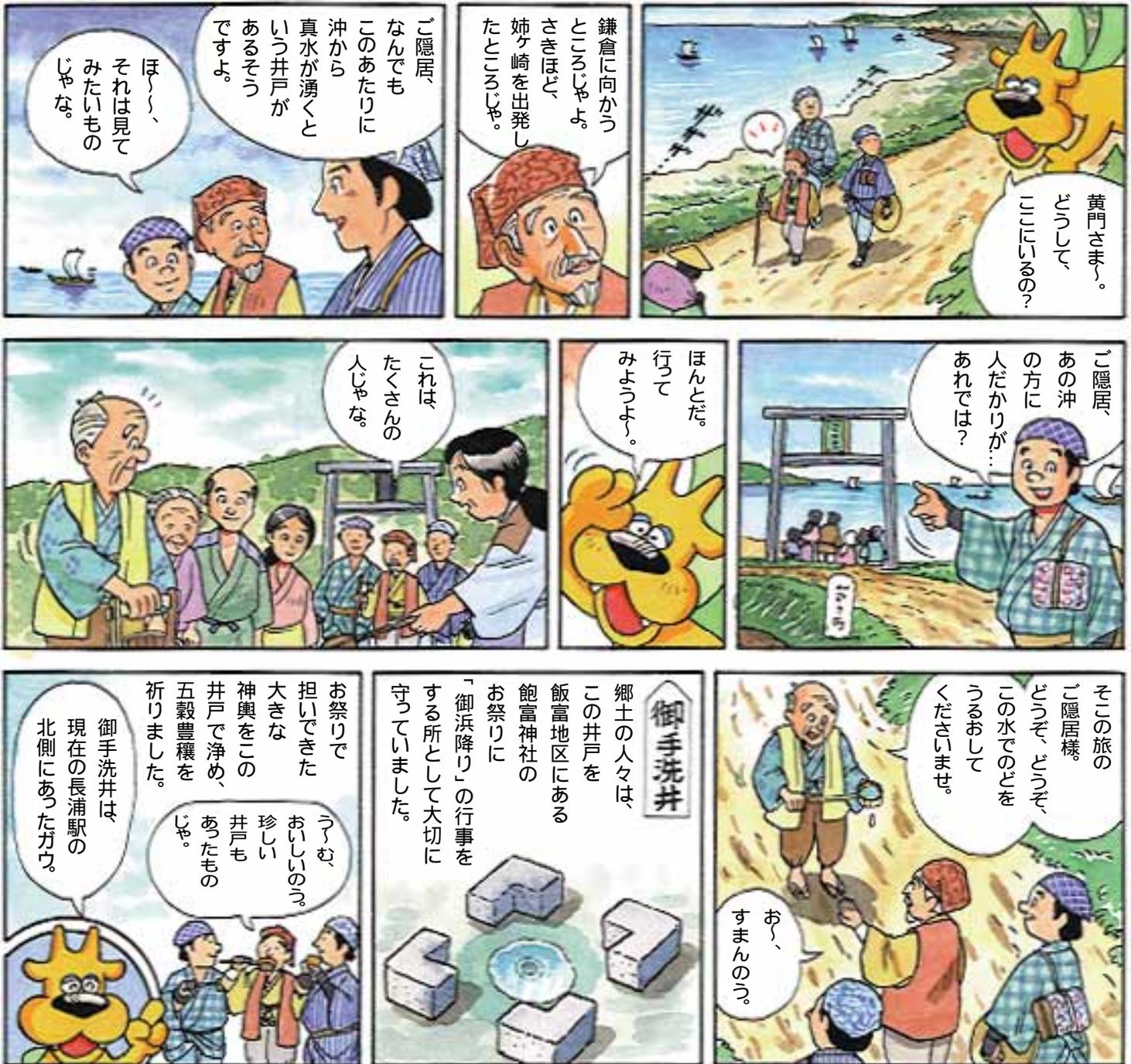
しかし、そうした厳しい支配のなかで、農民たちは、田植えや農作業を共同で助け合い、祭りでは豊作の祈願や感謝を行うなど、楽しいひとときを作り、生活していました。

江戸時代も中頃になると、農民の暮らしも安定し、諸国の寺社への参詣も楽しみの一つとなりました。農民の間では、頼母子講などをつくって、牛馬の購入や家屋の修繕のほか、このお金で農閑期に参詣に出かける者も少なくありませんでした。



江戸時代

昔の袖ヶ浦も栄えていたんだねえ～。
 おや!? 向こうから、だれかやってくるガウ。
 あれ～! 水戸黄門さまだぁ～!!



徳川光圀が袖ヶ浦を通ったのは事実です。そのときの様子を光圀は『甲寅紀行』のなかで記しています。

Edo Period

Edo (Tokyo) became the seat of power when Tokugawa Ieyasu formed the Edo Shogunate in the 17th century. The population of Edo swelled as a consequence, and an urban community developed. A network of roads was laid with Edo at its heart, and farm produce and other goods came to be shipped here from every region of Japan.

Roads were also laid in the Sodegaura

area, with a decree that porters and horses always be kept on hand at relay points along the main roads. A system was set up under which local villages were required to provide these porters and horses. Called the "sukego" system, it placed a heavy burden on the villages, for men and horses needed for agricultural work were taken. The shogunate also exacted a rice tax from each village as a unit in its rule of the people, and enforced the provision of various work services. Through village

officials, the shogunate placed elaborate controls on everything from farm produce to daily lifestyle.

Under such harsh rule, the farming people persevered together, lending one another a hand with the rice planting and farm labors, held festivals and rites in supplication for abundant harvests, and otherwise found occasions for communal enjoyment.

In the mid-19th century, Commodore

Perry arrived with a fleet in Uruga Bay, carrying a message to the shogunate urging Japan to end its seclusion policy. This crisis split the nation into two camps, those favoring an open-door policy and those in favor of repelling foreign adversaries. Eventually, the 15th shogun transferred his authority to the imperial court, thereby ending over 260 years of military rule.



井戸を掘って
いるだよ。
昔から、この
土地は水不足に
悩まされて
いたんだあ。

江戸時代の
ご先祖の
頃は、
水争いが
よく起った
そうだあ。



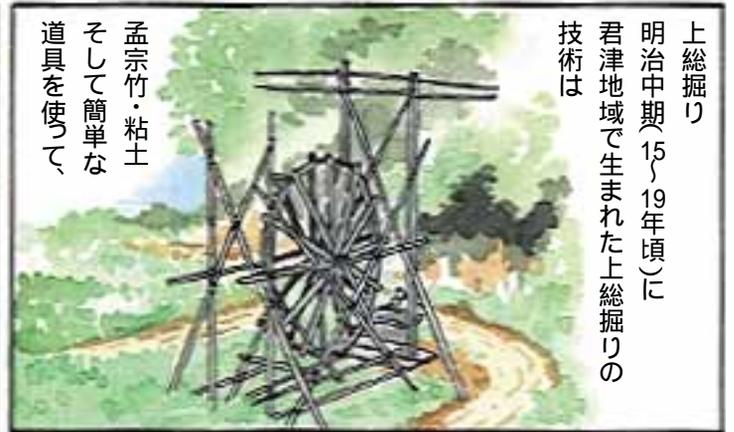
あれ？
何してる
ガウ？

上総掘り
だあ。



上総掘りの道具

地下何百メートル
も掘り進み
地下水を自噴
させるというもの
でした



上総掘り
明治中期(15～19年頃)に
君津地域で生まれた上総掘りの
技術は

孟宗竹・粘土
そして簡単な
道具を使って、



この上総掘りの技術はね、
現在、水不足
に悩む東南アジアや
アフリカで活用されて
いるガウ！



上総掘りの
完成で、一般農民層へ
普及していききました。

それまでの
井戸掘り作業は、
材料や人数も大がが
りであつたため、
有力農民層や
組合単位による
ものでしたが



上総掘りの特長は、
比較的簡単に入手
できる材料を
用いられ、作業人員
2～3人でも
掘削できること、
その技術
習得が比較的
容易であつた
ことです。

Meiji Period

In 1868, the Emperor Meiji read a statement in Kyoto proclaiming the Restoration and announcing the basic policy of the new imperial government. Edo was consequently renamed Tokyo, the "western capital," and "Meiji" became the era name. In 1871, the system of fiefdoms administered by lords under the shogunate was abolished and a new system of prefectures chosen by the Meiji government. Sodegaura was included in Kisarazu prefecture, at that time. Two years later, Kisarazu and Inba prefectures merged to create Chiba prefecture. 1871 also saw the

establishment of a Ministry of Education and implementation of a school education system.

In 1873, Kubota Elementary School opened in Sodegaura, using a Kubota district temple as a school building. The school had a teacher and 21 students. In those days, many parents felt that "farmers don't need academic learning," and stories are on record throughout Japan about how difficult it was, even when a school opened, to persuade parents to enter their children. Apparently, this was no less true in Sodegaura.

す、袖ヶ浦でも事情は同じだったよつです。
また、明治4年は文部省が設置され、学校制度を実施した年でもありました。袖ヶ浦でも明治6年(1873)に久保田にある正福寺を校舎に、久保田小学校が開校、教員1名生徒は21名でした。この頃は学校が設置されても、「百姓に学問は要らん」と言つて、子どもを入学させたがらない親を説得するのに苦労したというエピソードが全国各地に残されています。

また、明治4年(1871)には徳川幕府時代の大名の領地であつた藩を廃止し、新たに政府が決定した県を置く、廃藩置県を行い、幕藩体制を完全に崩壊させます。袖ヶ浦は木更津県に属しました。その2年後には木更津県と印旛県が合併して千葉県となりました。



大正～昭和時代 (戦前)

日本で鉄道が初めて走ったのは、
明治5年(1872)のこと。新橋～横浜間で
開業されたんだガウ。

房総では、市川～佐倉間が明治27年(1894)に開業したんだよ。
といつのは、この地域では水運が発達していたから、

陸上の交通手段があまり重要とされていなかったらしいんだ。

あたりまえよ。船は便利だし、物をたくさん運ぶことができる。陸蒸気なんかには負けないよ。

たしかに、ヤマトタケルの時代から、昔の人は海を渡っていたというしね。

ちよと待った。鉄道は陸を走るから、時代で動かないなんてことはないし、いつでも走れるから便利なの。

これからは鉄道の時代なのだあ。

明治43年(1910)には、房総半島を環状につなぐ「南房総環状線構想」が計画されました。

内房方面では、大正元年(1912)に木更津～久留里間で久留里線が開通しました。木更津間を結ぶ木更津線が開通しました。

大正・昭和初期、鉄道開通による交通の便の向上が房総地域に変化をもたらしました。

春は潮干狩り、夏は海水浴や避暑地として東京から多くの観光客が訪れるようになりました。

産業面でも、都市に近い立地条件から野菜や果樹などの商品作物の生産が盛んになり、

東京市場へは鉄道で、横浜市場へは汽船を使うなど、輸送先や運賃によって有利な方法が選ばれました。

でもね、海上交通は鉄道の高速度や道路網の充実で徐々に衰退してしまっただってさみしいね。

Taisho and Showa Eras (Pre-war Sodegaura)

Anxious of being left behind by the Western powers, who were engaged in colonial expansion around the world, the Japanese government emerged victorious from the Sino-Japanese war in 1894 and the Russo-Japanese war in 1904, thereby establishing a foothold on the Chinese mainland. Participating in the first world war when it broke out in 1914, Japan again emerged a victor and intensified its advance into Manchuria. In these years, Japan's military leaders exercised increasing power over state affairs. They finally exceeded their authority. In 1931,

a railway bombing in northeast China sparked the Manchurian Incident. This incident became the indirect cause of full-scale war with China and, eventually, with the United States in 1941 (the Pacific War).

In the Pacific War, the advance of US military forces proved unstoppable. In the last stages of the war, the US undertook the aerial bombing of every region in Japan. People in metropolitan areas evacuated to the countryside, at this time, in order to escape the bombing. A group of some 60 Tokyo children evacuated to Sodegaura, where they received refuge in Zenpukuji Temple (Yokota) and Enmeiji Temple (Takaya).

太平洋戦争では破竹の勢いで進軍するアメリカ軍による空襲が日本各地で行われました。空襲を避けるため、都市部から地方に避難する「疎開」が行われ、袖ヶ浦にも東京からの児童60余名が横田の善福寺や高谷の延命寺などに集団疎開して来ました。

列強諸国による世界各地での植民地政策に遅れることを恐れた政府は、富国強兵を唱え明治27年(1894)の日清戦争、明治37年(1904)の日露戦争で勝利し、大陸への足掛かりを確立させました。さらに大正3年(1914)に始まった第一次世界大戦にも参戦し、勝利国となったことで、大陸進出を本格化させます。軍部の威光がますます強くなり、それが暴走へと変っていききました。昭和6年(1931)に満州(中国の東北部)で起こした鉄道爆破事件が契機となって満州事変が勃発。その後の対中国への全面戦争(日中戦争)、そして昭和16年(1941)の対米戦争(太平洋戦争)の遠因となったのです。

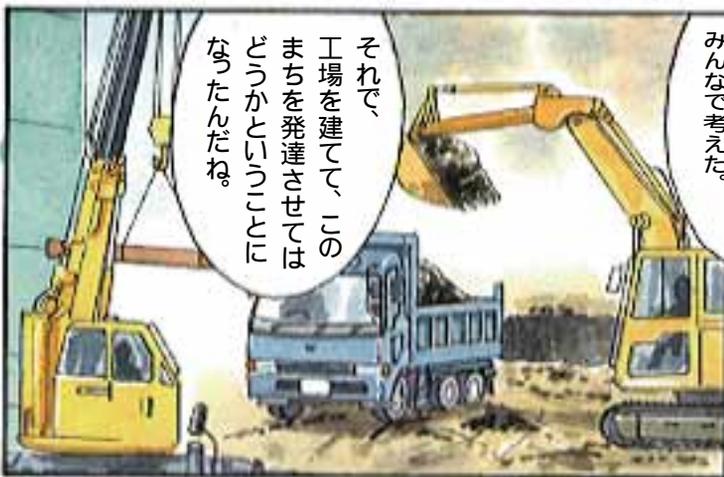


みんなで食料難を乗り越えたんだ。



海苔生産以外にも潮干狩りや釣りなどのできる観光地としても知られていたんだけどねえ。

そうだったのかあ。でも、田んぼや畑はもうないね。



それで、工場を建てて、このまちを発達させてはどうかというところになったんだね。

ではどうしようかとみんなで考えた。



生活が安定してくると、米も作らなくなった。それに塩害もあつたんだ!



この臨海部には約80の工場があるんだ。

いまでは、袖ヶ浦の景観にもなっている。工場のエントツとかも、昔はなかったんだね。



うむ。いま、そんな面影を懐かしんでいたんだよ。



それで工場がたくさんあるのかあ。

Showa Era (Post-war Sodegaura)

The Pacific War ended with Japan's surrender in August 1945. Thereafter, the nation adopted a constitution under the guidance of the GHQ (General Headquarters of the Occupation), and found a new start as a nation committed to peace and democracy.

Soaring inflation and severe food shortages were the realities of life for most Japanese, after the war. People began traveling by train to buy food from villages in the suburbs. Many such

people came to Sodegaura from Tokyo.

In 1947, the educational system was changed to the 6-3 system of education, with six years of elementary school and three of junior high school becoming mandatory for Japanese children. Due to the general lack of supplies, many schools even operated without a school building. Sodegaura's Showa Junior High School had to open in the area's oldest elementary school building. Classes were held in double shifts to accommodate the many students.

Eventually, as Japan reconstructed in

the aftermath of war, food shortages subsided and the domestic economy stabilized. In the Sodegaura area, villages were merged in 1955 to create the two towns of Sodegaura and Hirakawa. Hereafter, the Japanese economy entered an era of rapid economic growth. Amid bright economic prospects, the average household came to enjoy electrical appliances such as TVs, refrigerators, and washing machines, and lifestyle began to change. In these years, the coast off Nagaura was drained and reclaimed for rice farming. Thereafter, reclamation was undertaken all along the coast, and factories supportive of rapid economic

growth grew up where there once had been fishing grounds and bathing resorts.

In 1971, the towns of Sodegaura and Hirakawa merged to form "Sodegaura Town." Energy-related businesses dealing in electricity, gas, and petroleum gathered on the reclaimed coast, so that Sodegaura came to function as a great energy supply base.



平成時代

平成3年(1991) ついに「袖ヶ浦町」は、
「袖ヶ浦市」になったあ～！
やった、やった!!

ちなみに、この年は：
クウェートに侵攻したイラクに
対して、アメリカなどの
多国籍軍が空襲を開始した、
いわゆる「湾岸戦争」が
起こったり



長崎県の雲仙・普賢岳で
大規模火砕流が発生、
多くの人が犠牲になって
しまった！



…なんとも
暗い話題が
多かった。
しかし！
それを吹き飛ば
したのが、袖ヶ浦
の市制施行なの
だったのです！



さあ、
袖ヶ浦の
様子は？
おやおや、
あそこに
子どもたちが
大勢集まってる。



何して
いるガウ
？
新しい
図書館が
できたん
だよ。



ホントだ！
ピカピカだね。



長浦
おかのうえ
図書館って
いうんだ。
本もたくさん
あるんだって。
へー、
いいな、
いいな、
いいな。



キミも本を
借りていく
かい？
ええ、
いいよ。
読みたい本を
見つけるの
大変そうだし。



大丈夫なんだよ。
図書館同士でネットワーク化している
から、中央図書館や各分館、
小・中学校の図書室の蔵書から
見つけだせるようになっているんだ。



活字ばなれ
とか言われて
いるだろ？
本は
知識の泉。
だから、
たくさん本を
読んでほしいと、みんな
でサービスに力を入れて
いるんだよ。



みんなも、たくさん本を読もうね！
読み終わったら、ちゃんと返すのも忘れずにね！

column

平成3年(1991)4月1日、袖ヶ浦町は人口が5万人を超え、市制が施行され袖ヶ浦市となりました。県下で29番目の新しい市として誕生しました。同時に市内の施設として保健センター、社会福祉センター、福祉作業所が開設されました。また、県下初の「環境保全都市」を宣言するなど、新しい取り組みをスタートさせました。

多様化する市民の要望に沿って、長浦駅南口自転車駐車場、平川公民館富岡分館、万葉植物園をオープン、百目木公園にプールを開設するなど、施設の拡充が進みました。

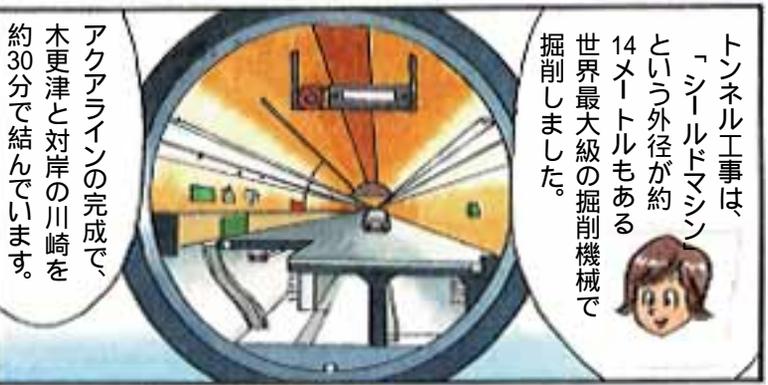
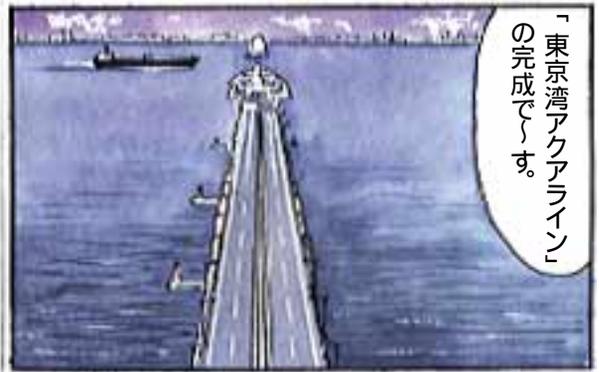
平成8年(1996)には市民からの生の声を市政に反映させるため、市民の声スタンドを設置した、「市民の声」制度が発足。そして平成9年(1997)には神奈川県川崎市と木更津市を結ぶアクアラインが開通。利用者の増大にもなっており、市内の国道16号線沿いに高速バスの乗り入れ場と利用者の駐車場が一体となった「袖ヶ浦バスターミナル駐車場」が完成。毎年多くの方々に利用されています。

21世紀を迎え、市制施行10年目を迎える平成13年(2001)3月、テーマパーク東京ドイツ村がオープンし、新しいランドマークとして期待されています。わがまち・袖ヶ浦は、輝かしい将来の都市像である、ひとと緑、光がやぐまち袖ヶ浦に向け発展しています。



平成時代

そして平成9年(1997)12月、袖ヶ浦、
いや房総にとっても大きな出来事が起ったあ~!
そうです。神奈川県川崎市と木更津市を結ぶ海の道...



その外観およその大きさは『アクアラインなるほど館』で見ることができます。



21世紀の新時代を築く要と
期待されているのです。

Heisei Era

Sodegaura attained city status on 1 April 1991 with a population of over 50,000 people, thus becoming the prefecture's 29th city. The Health Center, Social Welfare Center, and Welfare Activities Center opened at this time, and Sodegaura also announced its "Environmental Protection City" proclamation, the first in the prefecture, and embarked on new programs as such.

With the opening of a bicycle parking lot at Nagaura Station, the Tomioka Annex of Hirakawa Community Center, and Manyo Botanical Garden, as well as the completion of a pool at Domeki Park, Sodegaura made progress in expanding its facilities to meet the diversifying needs of residents. In 1996, the "Voices of Citizens" system was established, so as to better reflect citizen opinion in city government.

1997 saw the opening of Tokyo Bay

Aqua-Line, linking Kisarazu with Kawasaki, Kanagawa prefecture. Along with the growing numbers of Aqua-Line users, the "Sodegaura Bus Terminal Parking Lot" was completed. Each year, a growing number of people use the new facility, which integrates a parking lot for bridge users with an express bus terminal on Route 16 through the city.

In 2001, at the start of a new century, as Sodegaura celebrated its 10th year as a city, a new country farm theme park,

"Tokyo German Village," has opened. The theme park is expected to become a landmark in the city. Hereafter, Sodegaura will remain on the path of development, guided by its future portrait, "Sodegaura, a community radiant in its optimism and natural wealth."